

# 成田市議会だより



成田市観光  
キャラクター うなりくん

## 平成24年12月定例会

### 主な内容

常任委員会 .....	3
議案と審議結果一覧 .....	5
特別委員会 .....	7
決算特別委員会の審査内容 .....	9
一般質問 .....	10
コーヒータイム .....	14

### 初競り

1月5日午前5時20分、今年も恒例のマグロの「初競り」が行われました。  
気温マイナス4度の中、場内には、仲買人たちの威勢のよい掛け声が響き渡りました。  
(公設地方卸売市場)

12月  
定例会の  
あらまし

# 54議案を可決・承認・認定

## 防災会議条例及び災害対策本部条例の 一部改正や 保育所設置条例の一部改正など

平成24年12月定例会は、11月30日に招集され12月20日まで21日間の会期で開かれました。定例会の初日には、44議案が上程されました。

一般質問は、12月4日から3日間、13人の議員が登壇して行われ、7日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案44件と発議案1件を原案どおり可決・承認し、請願1件を採択、2件を不採択としました。また、9月定例会から継続審査中の決算関係議案9件を認定し、閉会しました。

### 12月定例会の日程

月 日	内 容
11月 30日(金)	本会議（開会、会期の決定、全議案一括上程）
12月 4日(火)	本会議（一般質問）
5日(水)	本会議（一般質問）
6日(木)	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
7日(金)	建設水道常任委員会
10日(月)	教育民生常任委員会
11日(火)	地域防災特別委員会、医療問題特別委員会
12日(水)	経済環境常任委員会
13日(木)	空港対策特別委員会
14日(金)	総務常任委員会
20日(木)	本会議（会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会）

# 常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

## 総務常任委員会

議案12件をいずれも可決・承認し、請願1件を不採択としました。  
所管事務について4件の報告を受けました。

### ▼成田市防災会議条例及び成田市災害対策本部条例の一部改正

**[内 容]** 災害対策基本法の一部改正に伴い、両条例について所要の改正を行うもの。防災会議条例では、成田市防災会議の所掌事務を改めるとともに、委員の構成を追加することに伴い、定数を43人以内から45人以内に変更するもの。

**[主な質疑]** **問** 防災会議の委員の定数が2人増えることの趣旨は。

**答** 東日本大震災での避難所運営において女性の視点が十分ではなかったことから、多様な意見を防災計画に反映させるため、自主防災組織構成員と学識経験者から女性を選任したいと考えている。

### ▼成田市長期継続契約に関する条例の一部改正

**[内 容]** 長期継続契約<sup>注1</sup>を締結することによって、安定した業務の履行、雇用環境の改善、事務の効率化、経費の削減が図れるよう、長期継続契約の対象となる契約の範囲を拡大するもの。

**注1** 各年度の予算の範囲内で給付を受けることを条件として、複数年度にわたる契約を締結すること。

### ▼成田市国民健康保険税条例の一部改正

**[内 容]** 近年の経済情勢で国民健康保険税の増収が見込めない中で、保険給付費等が年々増加し、財源不足が生じていることから、国民健康保険の財政の健全化を図るため、税率等を改正するもの。

**[主な質疑]** **問** 医療費の削減にどのように取り組んでいくのか。

**答** 今後はジェネリック薬品使用の差額通知と重複頻回受診者への訪問指導というような事業にも取り組んでいきたいと考えている。

## 教育民生常任委員会

議案18件をいずれも可決し、請願2件を採択並びに不採択としました。  
所管事務について3件の報告を受けました。



▲建設中の赤坂保育園

### ▼成田市保育所設置条例の一部改正

**[内 容]** 成田ニュータウン内の保育園の大規模改修工事を実施する際に、代替施設として使用する仮設園舎が平成25年4月1日から開所することに伴って、名称を「成田市赤坂保育園」とし、定員を180人と定めるもの。

### ▼「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の法制化を求める意見書採択に関する請願書

**[主な意見]** 年間3万人以上の方が自殺し、320万人程の方が精神疾患にかかっており、厚生労働省でも4大疾病に精神疾患を加えたところである。法制化を求める本請願に賛成する。

## 経済環境 常任委員会

議案3件をいずれも可決しました。  
所管事務について7件の報告を受けました。

### ▼成田市工場立地法に基づく緑地面積率等に係る準則を定める条例制定

[内 容] 工場立地法の一部が改正され、一定規模以上の工場などの立地を行う際の緑地面積率等に係る地域準則の制定権限が市に移譲されたことから新たに条例を制定するもの。

[主な質疑] **問** 緑地等の面積率は国の指定する水準を下回って設定されているが、理由は。

**答** 緑化推進と企業誘致の両方の観点から、現在、市の準則とみなしている県準則と同率とした。

### ▼平成24年度成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）

[内 容] 電気料金の値上げに伴う光熱水費の増額と、卸売市場基本方針策定に係る調査委託の実施にあたって、歳入歳出それぞれ1,616万7千円の増額補正を行うもの。

[主な質疑] **問** 基本方針策定の調査は老朽化した施設の改修のみか、事業の方針なども含むのか。

**答** 卸売市場の今後のあり方、将来構想に係る調査を行う。

## 建設水道 常任委員会

議案11件をいずれも可決しました。  
所管事務について5件の報告を受けました。

### ▼成田市が管理する市道に係る高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例制定

[内 容] 成田市では特定道路<sup>注2</sup>の指定を受けている市道はないが、バリアフリー法の規定により、特定道路以外の道路についても条例で定める基準に適合させるために必要な措置を講ずることが努力義務として課せられたことから条例を制定するもの。

注2 生活にかかわる道路のうち、多数の高齢者や障がい者が通常徒歩で移動するものであって、国土交通大臣が指定した道路。

### ▼JR成田駅東口再開発ビルB棟建設工事請負契約の締結

[内 容] JR成田駅東口第二種市街地再開発事業で予定されている再開発ビル2棟のうち、B棟の建設工事請負契約を締結するもの。

[主な質疑] **問** 入札参加者はなぜ3社だったのか。

**答** 競争の想定としては最大17の共同企業体ができることになっており、結果的に3社が参加し2社の応札があった。



## 国に意見書を提出

12月定例会では、議員から提出された議案（発議案）が可決され、国及び関係行政機関に意見書が提出されました。  
提出された意見書は下記のとおりです。

- 「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書









## 医療問題 特別委員会



### ●成田市急病診療所利用状況（平成24年4月～9月分）

内科・小児科の受診者数は4,313人で、前年度から307人の減少、外科は247人で、前年度から7人の増加、歯科は92人で、前年度から18人の減少となっており、全体では4,652人で、前年度比318人、6.4%の減少とのことでした。

なお、成田市民の利用率は、内科・小児科が62.5%、外科が62.8%、歯科が60.9%とのことでした。

### ●成田市消防本部救急搬送状況（平成24年1月～9月分）

成田市の救急搬送出動件数は4,763件、搬送人員は4,232人で、前年より32件、16人の減少とのことでした。

成田赤十字病院への搬送については、重症は6人増加し、中等症は94人、軽症は196人それぞれ減少していることから、緊急度や重症度の高い傷病者の受け入れを行う三次救命救急センターとしての状況がうかがえるとのことでした。

**[主な質疑]** **問** 成田赤十字病院以外への搬送が増えているが、消防で搬送先を分けているのか。

**答** 救急隊は現場で傷病者を観察し、状況に応じて二次救急医療機関の当番病院に一番先に連絡することもある。

## 地域防災 特別委員会



### ●成田市地域防災計画見直しの概要

防災施策の基本方針7項目と、地域防災特別委員会からの提言10項目に関連する項目を、地域防災計画見直しの重点項目と位置付け修正案をまとめたとのことでした。

自助・共助による地域防災力の向上、帰宅困難者等対策、災害時要援護者等対策、庁内体制の強化、情報発信体制の整備、物資確保等の体制の構築、避難体制の整備、放射性物質事故への対応が見直し概要とのことでした。

### ●福祉避難所の協定締結

成田市では大規模災害時に要援護者の避難生活をサポートする体制を強化するため、市内外11法人と協定を締結したとのことでした。

この11施設は、バリアフリーやケア環境等の整った介護老人保健施設や特別養護老人ホーム、障害者支援施設等で、指定避難所での生活に支障がある災害時要援護者が安心・安全に避難生活が送れるよう、二次的な避難所として利用されるとのことでした。

### ●放射能の測定結果

大気中の放射線量や、成田富里いずみ清掃工場の処理生成物や成田浄化センターのし尿焼却灰の放射能濃度はいずれも基準値を下回っているとのことでした。また、農畜産物の放射性物質については、シイタケの原木露地で100ベクレルを超えているものがあったため、生産者に注意喚起をしているとのことでした。



# 一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

## 1. 認知症予防・支援策

大倉富重雄 議員



▲西部北地域包括支援センターの認知症研修会

**問 >>>** 増え続ける認知症が大きな問題となっている。成田市であっても、今後認知症の方をどのように支援していくかは大変大きな課題である。厚生労働省の認知症施策検討プロジェクトチームは、今後の認知症施策の方向性についてとりまとめ、認知症施策推進5か年計画を公表した。そこで成田市としての認知症予防・支援策に対する基本的な考え方は、また認知症初期集中支援チームと身近型認知症疾患医療センター<sup>注5</sup>についてどのように考えているのか。

**答 >>>** 認知症の予防・早期発見・早期治療に向けた支援とともに、

<sup>注5</sup> 認知症の早期診断・早期支援・危機回避支援などの機能を持つ医療センター。

認知症になっても本人の意思が尊重され、住みなれた地域で安心して生活ができるよう必要な医療や介護、日常生活における支援が一体的に結びついた支援体制を整えることが必要である。認知症初期集中支援チームの整備は、千葉県と連携を図りながら国の状況を把握し、対応できる体制を整えていきたい。また身近型認知症疾患医療センターが成田市内に整備されることを望んでいる。

### その他の質問

- ◆医療と介護の連携の取り組み
- ◆24時間巡回サービスの創設
- ◆男女共同参画センターの進捗

## 2. ごみの分別区分を分かりやすく

雨宮真吾 議員



▲ごみ集積所に出された白いごみ袋

**問 >>>** 成田富里いずみ清掃工場の整備にあわせて、ごみの分別区分が見直され、これまでビニール・プラスチック類として毎週回収されていたものが、平成24年10月の運用に伴い、2週間に1回と半減した。白いごみ袋を2週間に1度、一気に出されると、従来のごみ置場の規模では入り切らず外に置かれてしまうといった声も寄せられている。そこで成田市として、プラスチック製容器包装の分別について、現場は混乱している状況にあることから、従来からの変更内容について、よりわかりやすい形での分別方法を再度示す必要があると思うが見解を。

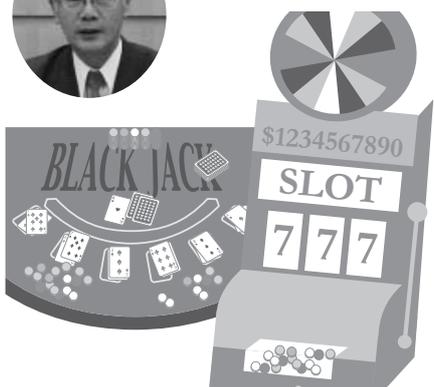
**答 >>>** 今後は、分別のポイントをわかりやすいイラストや写真で示すとともに、モデルケースとして実際の分別作業を見てもらったり、あるいはこれをビデオに収録してDVDを作成し見てもらうなど、よりわかりやすく工夫をして資源ごみの分別の精度が上がっていくように周知していきたい。

### その他の質問

- ◆持ち去り禁止条例
- ◆所得格差に伴う教育格差の現状
- ◆低所得者世帯への通塾に要する一部の助成制度の創設

## 3. カジノ誘致は成田のイメージダウンでは

鵜澤 治 議員



**問 >>>** カジノ誘致で大きな経済効果が見込まれているが、その積算根拠は非公開で不明とのことである。経済効果も根拠がないことには信用できない。どんな立派な施設でやる賭博も、利根川の河原でむしろを敷いてやる賭博も、ばくちには違いない。成田にカジノは、観光キャラクターうなりくんのイメージダウンにもつなげるのではないかと。市長は、民間レベルの議論が深まることを期待していると言っているが、法整備などが進めばカジノ誘致を進めたいと理解してよいか。

**答 >>>** カジノ・MICEを含む

複合施設、いわゆるIR誘致をするかどうかについては、まずは民間レベルで、メリット・デメリットを含め議論を深めてもらい、民意が深まった時点で、成田市としてどのように対応していくかを判断していきたい。

### その他の質問

- ◆市長は国に原発ゼロの要請を
- ◆市長は国にTPP参加反対の要請を
- ◆夜間騒音から住民の暮らしを守って



## 4. 不登校児童生徒への取り組み

青野勝行 議員



**問 >>>** 成田市では、現在200名を超す子どもたちが学校に長期欠席で通学できない現状をどのようにとらえているのか。不登校の予防策も含めたマニュアルを早急に作成し、支援体制を整備する必要があると考える。不登校について、今後どのように対応するのか、方向性も含めて、具体的な対策を伺う。

**答 >>>** 平成19年度からの長欠率及び不登校率は、年々減少傾向であるが、いまだ100名余りの不登校児童生徒がいることは憂慮すべきであり、その問題解決を教育施策の一つと掲げ取り組みを行っている。学

校では、家庭との連携、支援教室の設置、教育相談や学習支援など個に応じた対応を行い、教職員は、不登校の解消に向けた校内体制をつくり、最善の対策を検討しながら対応している。また、他の関係機関との連携のほか、教育支援センターでは、自立支援を行うとともに、通所する児童生徒及び保護者に対しカウンセリングを実施し学校復帰を目指している。

### その他の質問

- ◆フリースクールを含めた選択肢の拡大
- ◆障がい児教育における学習環境の整備

## 5. 生活保護をめぐる問題

會津素子 議員



**問 >>>** 生活保護基準が引き下げられれば、低収入であるのに課税される世帯、就学援助などの減免制度を利用できない世帯が増える。また、最低賃金が切り下げられ、労働条件が悪化、消費が落ち込むことで景気・雇用状況も悪化することにつながる。最後のセーフティネットの切り崩しは命にかかわるという視点から、国に対して生活保護基準引き下げに反対するよう強く求めるがどのように考えるか。

**答 >>>** 厚生労働省の諮問機関である社会保障審議会の中に設置された生活困窮者の生活支援のあり方に

関する特別部会において、生活保護費の給付水準の適正化だけではなく、就労支援策の強化、不正受給対策、扶養義務者の説明責任など、生活保護制度の全般について、様々な議論がされている。よって、その動向を注視するとともに、十分な議論がされることを期待する。

### その他の質問

- ◆子どもの貧困問題に対する成田市の施策を問う
- ◆東京都荒川区のように、子どもの貧困の実態調査を求める
- ◆就学援助の子どもたちへの学習サポートを求める

## 6. 社会保障制度の解体

馬込勝未 議員



**問 >>>** 社会保障制度改革推進法の考えに基づく制度改定が行われれば、社会保障制度が解体されると指摘されるような大変な内容を持っていると思う。この推進法の第2条では、国民の自立した生活を家族相互、国民相互の助け合いの仕組みを通じて支援していくとし、国の責任や企業の責任も書いていない。また、日本弁護士連合会は、憲法第25条に抵触する恐れがあると批判をしている。この推進法は、社会保障の基本的な考えを否定し、徹底した公費の削減を狙いとするものではないのか。成田市としての考えを伺う。

**答 >>>** 社会保障制度改革推進法では、国は社会保障制度改革に関する施策を総合的に策定し、実施する責務を有するとされていることから、憲法第25条に定める国の義務である社会保障及び社会福祉の公的責任について、これを否定するものではないものと考えている。

### その他の質問

- ◆ごみの新しい分別方法の周知・徹底を
- ◆家庭用太陽光発電への補助金の上乘せを
- ◆親族の扶養は生活保護の開始条件ではない



## 7. 空き家問題の実態と条例制定

足立満智子 議員



▲荒廃した空き家

**問 >>>** 少子高齢化、過疎化が進む中で、空き家が目につくようになった。成田市内の住宅団地でも一見して空き家とわかる建物も増えている。住民にとって近所の空き家が身近な問題になりつつあるが、市内の空き家の実態をどのように把握しているか。また、空き家が増えて問題が生じてから対策を立てるのではなく、将来のまちづくりと絡めて(仮称)空き家に関する適正管理条例を制定してはいかがか。

**答 >>>** 空き家の実態について現段階では把握していないが、空き家戸数の増加傾向は成田市においても

注6 投資家が投資先の国家の政策によって被害を受けた場合、その国家を第三者である仲裁裁判所に訴えることができるという制度。

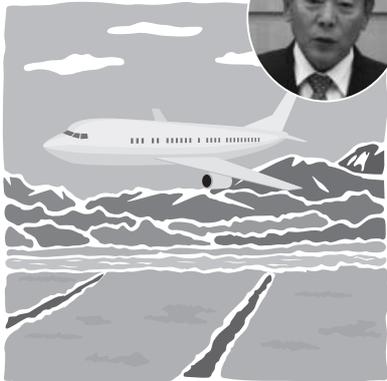
例外ではないと認識している。これらを放置しておく和生活環境の悪化、防災・防犯機能の低下、老朽化による倒壊等様々な問題が危惧されるため、実態調査の具体的な手法なども含め検討していく。また、所有者に適正な管理をしてもらうための条例制定は先進市の取り組みも参考にしながら調査研究を進めていきたい。

### その他の質問

- ◆ TPPのISD条項<sup>注6</sup>が地方自治に及ぼす影響
- ◆ 成田市公害防止条例における騒音規制

## 8. 非線引き地区、特に大栄地区の土地利用

伊橋利保 議員



**問 >>>** 空港周辺地域における土地利用のあり方が示されたが、このままでは大栄地区は土地の有効活用などはほど遠く、過疎化が進むばかりになってしまう。圏央道のインターチェンジ建設計画もあり、より空港と一体的な土地利用を促進するための開発誘導が必要と考える。そこで、幹線道路沿いの開発誘導の緩和策が図れないか。また、近隣住民の雇用拡大も視野に入れた空港と一体的な開発を、空港東側を拠点に進めることが望ましいと考えるがどうか。

**答 >>>** 大栄及び下総地区の非線

引き区域は、市街化調整区域とは異なり、規制が緩やかで、道路状況などの技術的基準が満たされれば開発許可が可能であると考えている。幹線道路沿いも、都市計画上は開発が可能となるが、農業振興地域における制限がある場合は、協議及び調整が必要となる。空港東側地域は、地区計画制度の活用や特定用途制限地域の指定により、適切な土地利用の誘導を目指したい。

### その他の質問

- ◆ 大栄地区の小学校統廃合の進捗状況と今後の進め方
- ◆ イノシシ対策は猟友会まかせだが対策は十分なのか

## 9. いじめ解決の難しさ、予防教育の推進

海保茂喜 議員



**問 >>>** 日本の教育は根が枯れ、幹が腐りかけており、枝葉の対処療法的な改革だけでは再生不能である。教育再生の取り組みは、目先の費用対効果で仕分けることはできない。家庭教育と幼児教育という教育再生の根と幹に焦点を当てた根本的な改革が望まれる。いじめの根っこにある問題は、共感性と規範意識の欠如である。個々の認識の違いをなくすための予防教育をすぐにでも推進すべきではないか。

**答 >>>** 日々の教育活動や保護者会などを通し、いじめの定義について共通認識を図った上で理解を深め、

いじめは絶対に許されない行為であり、常にいじめられる側の立場に立って正しい判断や行動をするよう指導、啓発に努めている。さらに、いじめの行為をひやかしやからかいなど、より具体的な内容で示し、全教職員がいじめについて再確認をすることで、小さいいじめも見逃さない体制を整えている。

### その他の質問

- ◆ 農業振興・里山整備による自然保護
- ◆ バイオマスタウン構想<sup>注7</sup>
- ◆ 市民参加から考える公共サービス

注7 動植物から生まれた再生可能な有機資源の有効活用による地域の活性化をめざした構想。

## 10. 災害時の情報伝達の円滑化

一山貴志 議員



**問 >>>** 現在、テレビが地デジ化になり、リモコンボタンを1つ押せばデータ放送が見られるようになった。例えば、千葉テレビのデータ放送では、成田市のイベント情報や天気予報、また避難所情報などが文字で見られるようになっている。そこに、災害時等の緊急時に防災行政無線の放送内容も見られるようにできないのか見解を伺う。

**答 >>>** 千葉テレビのデータ放送については、市役所にある端末に文字を入力することによって、その情報がテレビで文字情報として放送できるというものである。災害時等の

緊急時には千葉テレビのデータ放送において防災行政無線の放送内容等も文字情報として放送できるものと考えており、災害時の緊急的な情報伝達手段として活用していきたい。

### その他の質問

- ◆学校施設における非構造物の耐震化
- ◆庁舎・学校施設における緊急地震速報システムの推進
- ◆リース方式によるLED化の推進

## 11. 地元地域と成田空港との共生

水上幸彦 議員



**問 >>>** 成田空港の滑走路運用時間延長など地域住民への情報提供についての成田市の考え方は。また検問が簡素化され、空港へのアクセスについて地域住民の利用促進が図れるような方法がとれば、空港機能を存分に利用できるのではないかと。空港施設や交通機関の利用について、さらに大規模災害時の空港との相互協力についての考えを伺う。

**答 >>>** 空港情報の早期提供の方法は成田国際空港株式会社と協議していく。空港に入る際の検問は、空港利用者の利便性や快適性の向上のためにも警備の質を確保しつつ緩和

してもよいのではないかと考えている。LCCの新規就航、鉄道やバスなど空港アクセスの向上も図られ、また飲食店や専門店なども充実し身近な商業施設として地元住民にも気軽に利用しやすい快適性の高い空港としてさらに発展していければと考えている。大規模災害時には地域と空港が連携し相互支援と連絡体制の確立が大事になるため、今後成田国際空港株式会社と協議を進めていく。

### その他の質問

- ◆大規模災害時の災害弱者対応
- ◆高齢者生きがいづくり施策
- ◆空き地の適正管理

## 12. 遊休農地の解消や農地の集積

福島浩一 議員



**問 >>>** 農地の集積をする場合、遊休農地の解消等を含め、農地の貸し借り情報を農家に公開すべきと思うが、成田市独自の情報提供を考えているか。例えば、今、全国レベルで全国農業会議所が農地情報提供システム等を運営しているが、参加する考えはないか。

**答 >>>** 成田市農業センターにおいて、ホームページを開設するべく準備を進めており、その中で貸し付け希望農地などの情報提供を行うことを考えている。成田市としては、農地の情報提供を行うことは規模拡大を図る意欲ある農業者への農地の

集積が図られ、農地の有効利用による耕作放棄地の発生防止にもなることから、農業センター、農業委員会と連携・協力し、農業センターホームページの活用など、適切な情報提供ができるように支援していきたい。

### その他の質問

- ◆集落営農の推進や新規就農者の総合支援、農地の集積等
- ◆転作奨励金を含め稲作農家を維持させるための施策
- ◆大栄幼稚園で幼児教育充実のため3年保育を実施する予定は

## 13. 生活排水対策推進計画



秋山 忍 議員



▲水辺環境に親しめるグリーンウォーターパーク

**問** 水質汚濁防止法では、生活排水対策が特に必要と認められる地域を県が指定し、市町村は生活排水対策を計画的に進めることとなっており、成田市もその指定を受けている。生活排水は、365日、市民の毎日の生活にかかわることであり、どの居住区域においても、だれもが健康で快適な日常生活を送るという公平性の観点からも、安心して適正処理するためのインフラ整備は優先すべき政策課題の1つであると考えられる。生活排水対策処理に対する成田市の基本的な考え方を伺う。

**答** 生活排水対策推進計画は、

生活排水を適正に処理している人口の増加と河川に流れ込む汚濁負荷量の削減を目標として定めるものであり、道路側溝などの整備を位置付けるものとはなっていないが、今後とも下水道、道路など生活基盤整備との整合を図りながら、目標の達成に努めていきたいと考えている。

### その他の質問

- ◆生活排水対策推進計画の市の財政計画
- ◆汚水適正処理構想の現状と今後の整備計画は
- ◆放流先の公共水域のない地域に対する対策

## 議員研修会を開催

成田市議会議員団では、議員の資質向上、議員活動の向上を目指し、研修会を行っています。

11月28日には、「折れやすい日本人にどう対処するか? ~日本のメンタル問題と対策への手引き~」をテーマに、(株)行政マネジメント研究所客員講師の渡部卓氏を迎えて開催しました。



## くわしい情報は市議会ホームページをご覧ください

市議会ホームページでは、紙面の都合で市議会だよりではお伝えできなかったくわしい情報をご覧ください。本会議や委員会のライブ中継や録画中継(本会議のみ)、市議会の日程や行政視察の内容などさまざまな情報のほか、会議録の検索システムなども便利にご利用いただけます。

成田市議会

検索

## 3月定例会は、2月22日(金)開会予定です

### コーヒータイム



新しい年を迎えるに今年はどのような年なのかと、恩師の先生方の資料を参考に「癸巳(みづのとみ)」の意味を考えてみました。

もともと干支は十干・十二支からなり、陰陽五行の思想と共に組み合わせられ発達し、その思想と同和して人々に利用されてきたため干支も易占の類とみなされがちですが、厳密には干支は決して占いではなく元來暦の学問です。

癸(みづのと)は「揆る」の意と言われ、草木の種子の内部に妊まれた生命体の長さが次第に形づくられ、その長さを測ることができるほどに成長した状態を表わしており、新しい時代の胎動を感じさせます。万事筋道を立て物事を考えて処理していくことが必要で、それを誤ると混乱し、あるいはご破算にならぬとも限らないとされています。

巳(み)は新たに出発するという意味であり、昨年まで準備し蓄えた力を発揮し、再生する年です。

よって今年は、物事が終結して新たに発する年、原理原則を一致協力して進めていくという巡りと言われています。

成田市議会も今年は正副議長や各委員会の改選の年でもあります。

市議会だより編集委員長 神崎 利一

「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙を使用しています。

